

ゆがんだ政治、もともと変える

何でも自己責任、低賃金、高すぎる学費、僅かな年金、男女の賃金格差、気候危機…国民、若者を苦しめている社会の根本に、「アメリカいいなり」「大企業中心」の政治のゆがみがあると考えています。日本共産党は、2つのゆがみを「もともと変え」、新しい政治を提案しています。

選挙で示された国民多数の意思で決め、階段を上がるように一段ずつ、新しい社会に進む。これが私たちの方針です。

格差を拡大し、気候危機を引き起こす資本主義社会が「人類の終着駅」なのでしょうか？資本主義を乗り越え、労働時間を短縮し、自由な時間を大切に自分の隠れた能力を全面的に発揮する＝共産主義の社会を展望しています。

日本共産党は、方針はみんなで自由に議論し、行動は統一して、国民への責任を果たします。政党助成金も企業献金ももらわず、党費やカンパなどに支えられているからこそ、「しんぶん赤旗」で真実を報道し、国会で鋭く質問できます。



堀川あきこプロフィール

1986年10月、福岡県生まれ、36歳。立命館大学国際関係学部卒。一般社団法人京都府教職員互助組合の勤務を経て、民青同盟京都府委員長、党京都府委員会自治体部長などを歴任。現在、党京都府委員会常任委員。2022年参院選比例候補。

大学で国際関係を学んだことを活かし、核兵器廃絶のためNPT再検討会議ニューヨーク行動に参加。青年を苦しめる高学費とひどい働き方を変えるためLDA京都を結成し、1000人以上からアンケートを集め、地方議会や省庁へ要請行動を実施。京都府・京都市・労働局による京都ブラックバイト対策協議会設置(2016)や、従業員の奨学金返済を支援する地元企業への京都府による補助事業創設(2017)につながる。

コロナ禍の中、民青の京都府委員長として、青年・学生の実態調査を開始し、2020年に食料支援プロジェクトをスタート。

学費ゼロへ 新しい時代をつくる



#比例は 日本共産党

比例近畿ブロック(定数28) 比例名簿 掲載予定者

総選挙
この人たちが
国会へ

元参議院議員 新47 (参院1期) たつみ コータロー	党京都府常任委員 新36 堀川あきこ 京都2区重複	衆議院議員2期 前55 清水ただし	元尼崎市議 新48 こむら潤 兵庫8区重複
--	---	--------------------------------	---------------------------------------

比例代表は「日本共産党」と
政党名を書いて下さい 個人名を書くと無効です

小選挙区は候補者の名前です

JCP 京都 日本共産党は上記の見解を發表しました。発行：日本共産党京都府委員会 2023年8月号
〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町186 TEL075(211)5371

堀川あきこ
サイト



JCP サポーター
京都 LINE 公式



比例近畿 / 京都2区

ほりかわ 朗子

堀川あきこ



36歳

私の決意

未来が自由に選び取れる社会

私は、民青同盟の活動のなかでたくさんの学生や若い世代の声を聞いてきました。

コロナ禍で学生の実態調査をしたときには、「アルバイトのシフトに全部入れなくなって、明日の食事にも困っている。助けてください」という悲痛な声が寄せられました。また大学院生からは「研究を続けようと思っても、お金の心配と将来の不安でいっぱい。女性研究者は自分のライフイベントか、研究かの選択を迫られる」という話を聞きました。私自身、高すぎる学費に家族全員が苦しめられ、私はいまも奨学金の返済をかかえています。

学費、働き方、そしてジェンダーの問題、政治によって生み出された生きづらさのなかで、必死にもがく仲間がたくさんいます。未来を自由に選ぶことがこんなにも難しいものかと怒りと悲しみを覚えました。

この社会をつくってきたのは、「自己責任」を政治に持ち込み、高学費負担を当事者に押し付け、非正規雇用の拡大に道を開いてきた大企業いりなりの政治です。ここをただして、未来が自由に選び取れる社会をつくる、これが私の初心です。



集めた青年の実態を、実際に何度も国会へ直接届けました



舞鶴市での食料支援プロジェクトで相談活動にのり、切実な実態をつかむ



青年の声を京都市に届け、奨学金返済支援などで切り拓く



学費・奨学金政策でのJCPサポーターとのチャット宣伝企画



核兵器廃絶をめざしNPT再検討会議に合わせておこなわれたNY行動



ニューヨークセントラルパークのイマジン碑



2018年若者憲法集会にて

願い阻むおおもとを変える

そしてもう一つは、平和の問題です。

岸田政権は、5年間で43兆円ものお金を費やし、日本が攻撃されてもいないのにアメリカの対中国戦略のために、自衛隊基地を強硬化する、ミサイルを爆買いする一まさに戦争の準備に舵を切りました。

アメリカ言いなりの安全保障で対立と分断をアジアにつくるのではなく、戦争しない、させないための枠組みをアジアのすべての国とつくるのが目指すべき道、これが反戦と平和を101年貫いてきた日本共産党の提案です。これこそ、戦争の火種のない社会をつくる、国民の命も自衛隊員の命も守る、責任ある提案だと思います。

私の平和の原点は祖父母から聞いた戦争体験です。亡くなる直前まで語り継いでくれた祖父母

から受け取ったのは、戦争だけはしてはいけない、そのために憲法9条がある、このことだと思います。この思いを将来につなげるために、全力でがんばる決意です。

